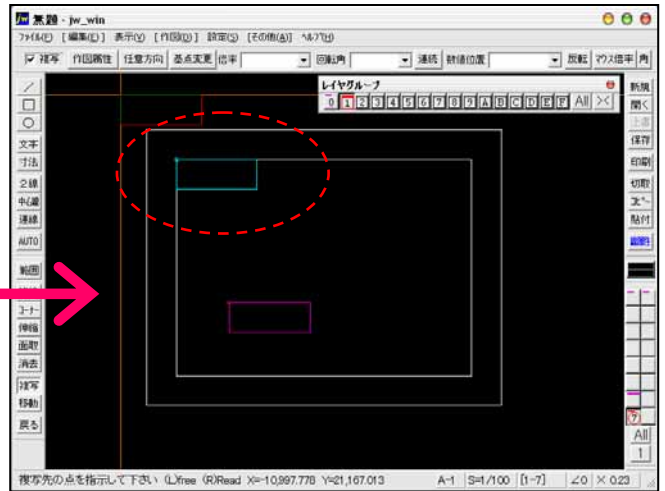
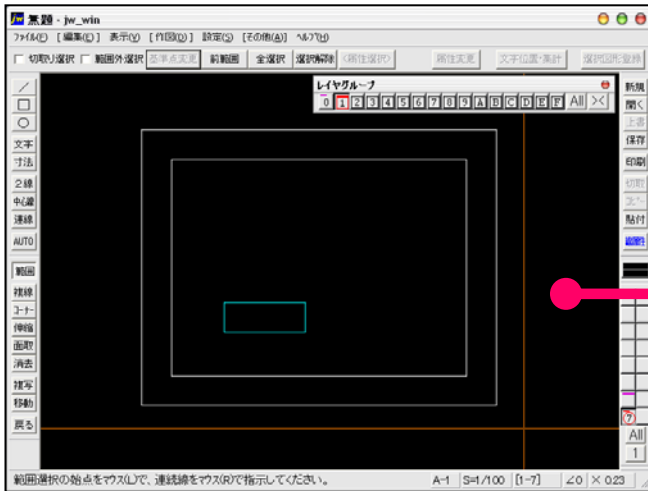


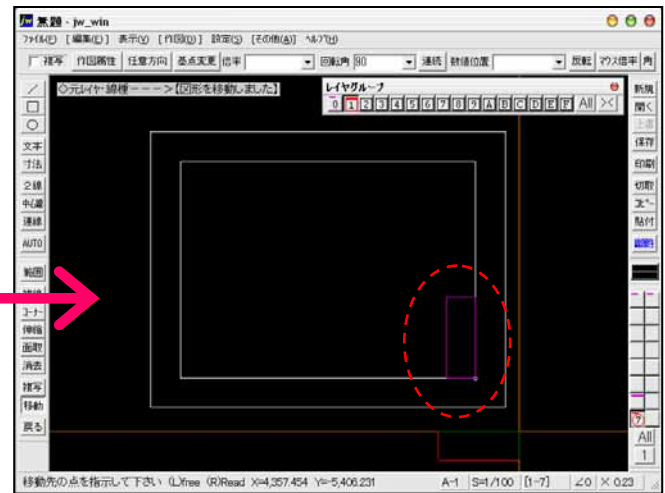
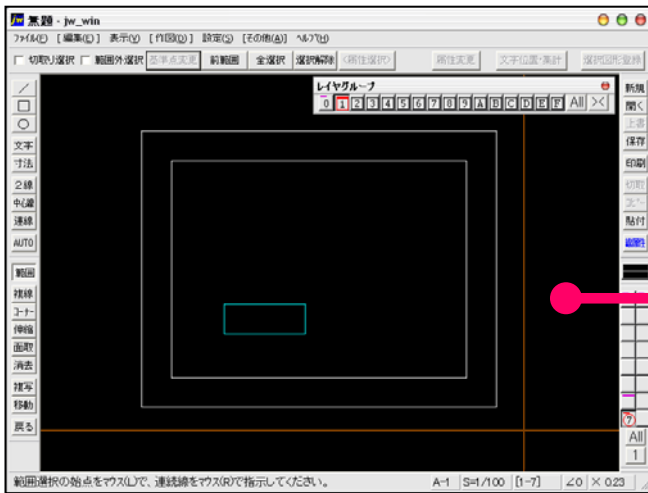
5. 基本的な編集-2

ここでは線(図形)・文字の移動・複写・消去方法を見ていきましょう。
「(1-3)ツールバーを格納する」で設定した画面を使用して説明していきます。

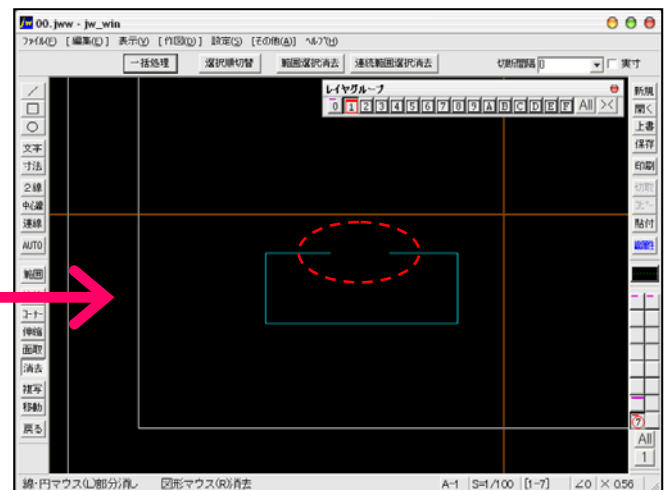
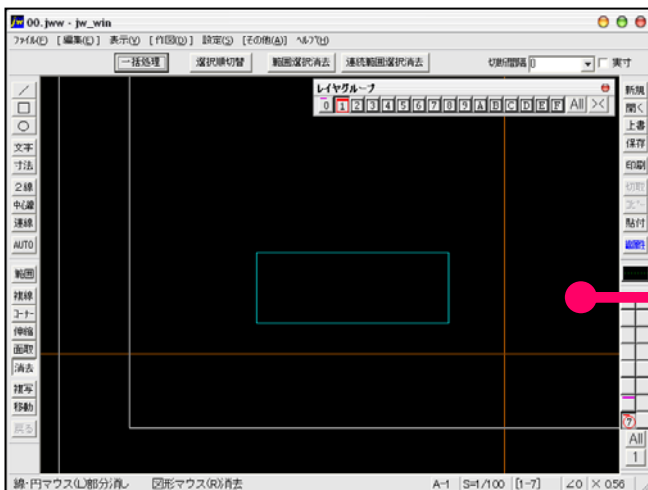
複写



移動



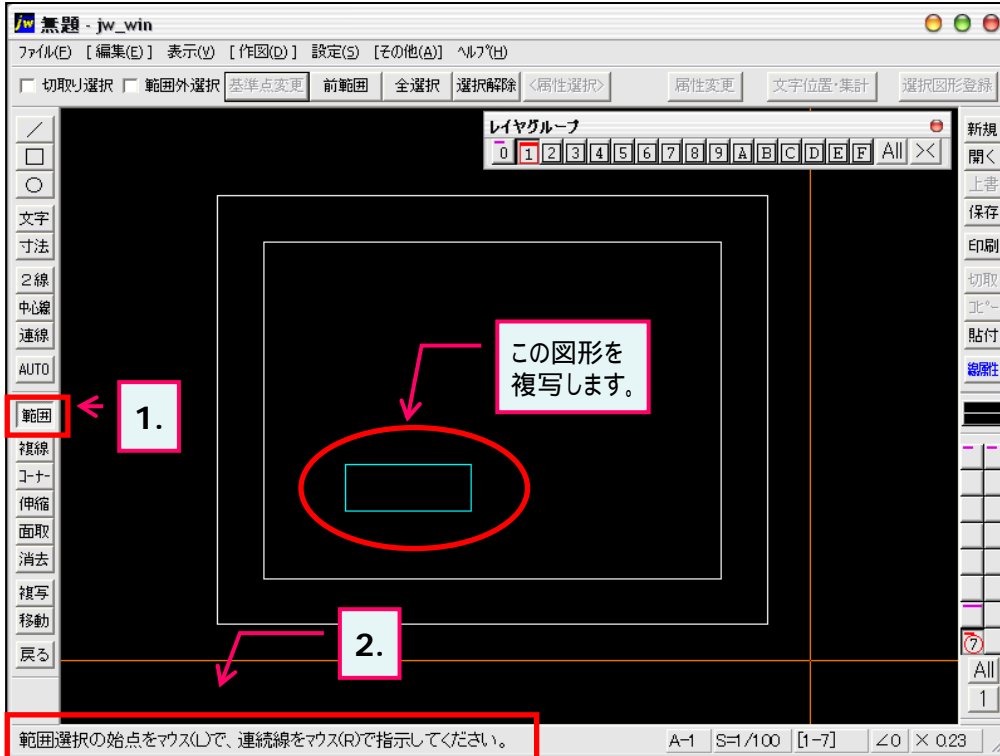
消去



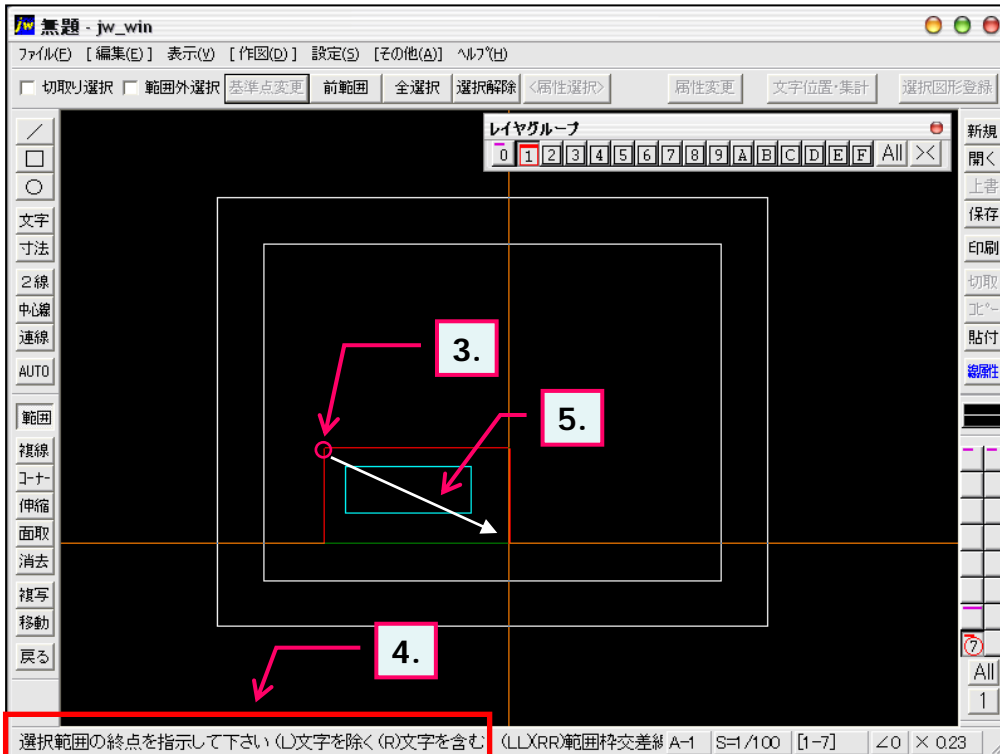
5-1(1). 線(図形)・文字の複写-1

ここでは線(図形)の複写方法を見ていきましょう。

複写の方法は他にもありますが、ここでは **範囲選択 複写** の手順で説明していきます。



1. ツールバー「編集(1)」の**範囲**ボタンをクリックします。
(メニューバー 編集(E) 範囲選択(S)又は、keyボード上の「Y」キーを押しても選択できます。)
2. ステータスバーに表示されるヒントを確認。



3. 複写したい図形の範囲にする(ここでは任意)始点をマウス左ボタンで指示します。
4. ステータスバーに表示されるヒントを確認。
5. マウスを斜めに移動し、複写したい図形の範囲(ここでは任意)を四角で囲むようにして終点をマウス右ボタンでクリックします。
(R)文字を含む。

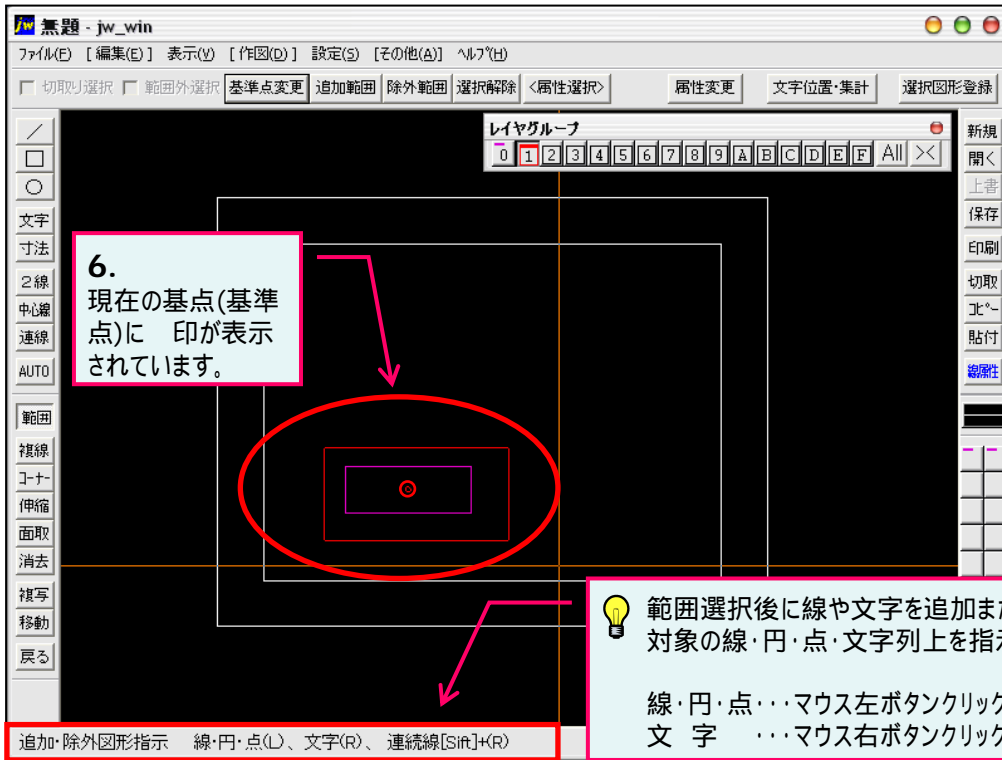
…次項へ続きます。

💡 終点を指定するときに線(文字)のみを選択するときはマウス左ボタンでクリックします。

💡 始点・終点の変更はKeyボード「ESC」キーを押すと1つ前の操作へ戻り、再指示できます。

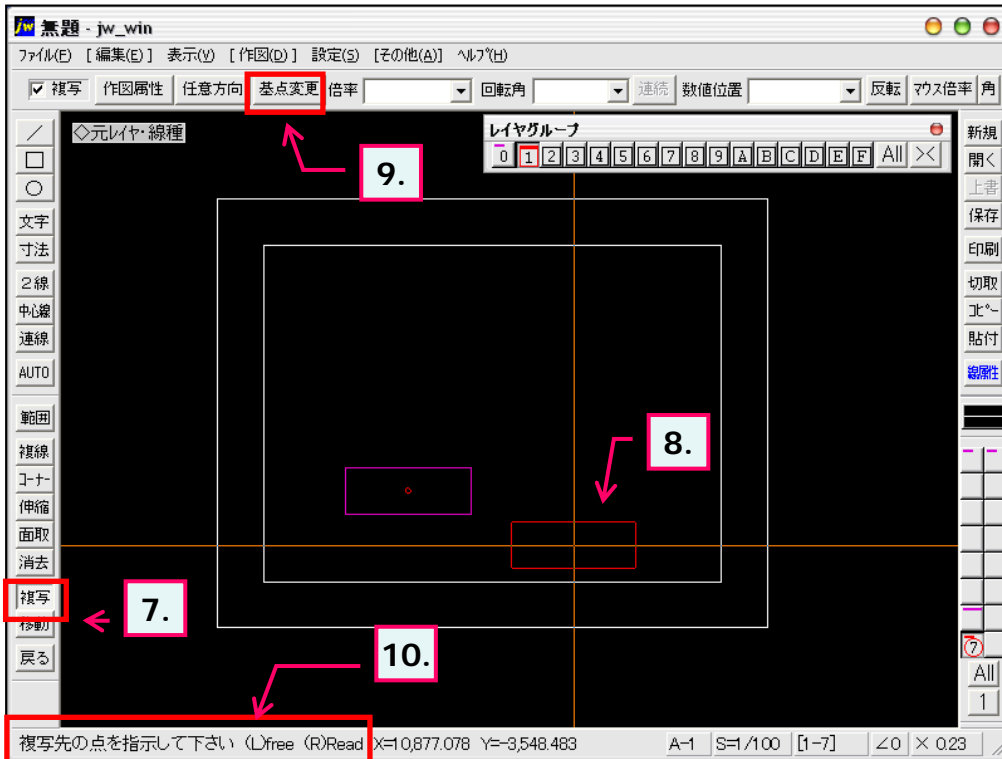
5-1(2). 線(図形)・文字の複写-2

複写-2



6. 指定された範囲の線(図形)・文字が選択色に変化しています。

💡 範囲選択後は、移動や消去を選択することもできます。



7. ツールバー「編集(1)」の複写ボタンをクリックします。(メニューバー 編集(E) 図形複写(Z)又は、keyボード上の「C」キーを押しても選択できます。)

8. 複写された線(図形)が仮表示線で表示されています。

9. 「基点変更」ボタンを押して複写時の基点を変更しましょう。

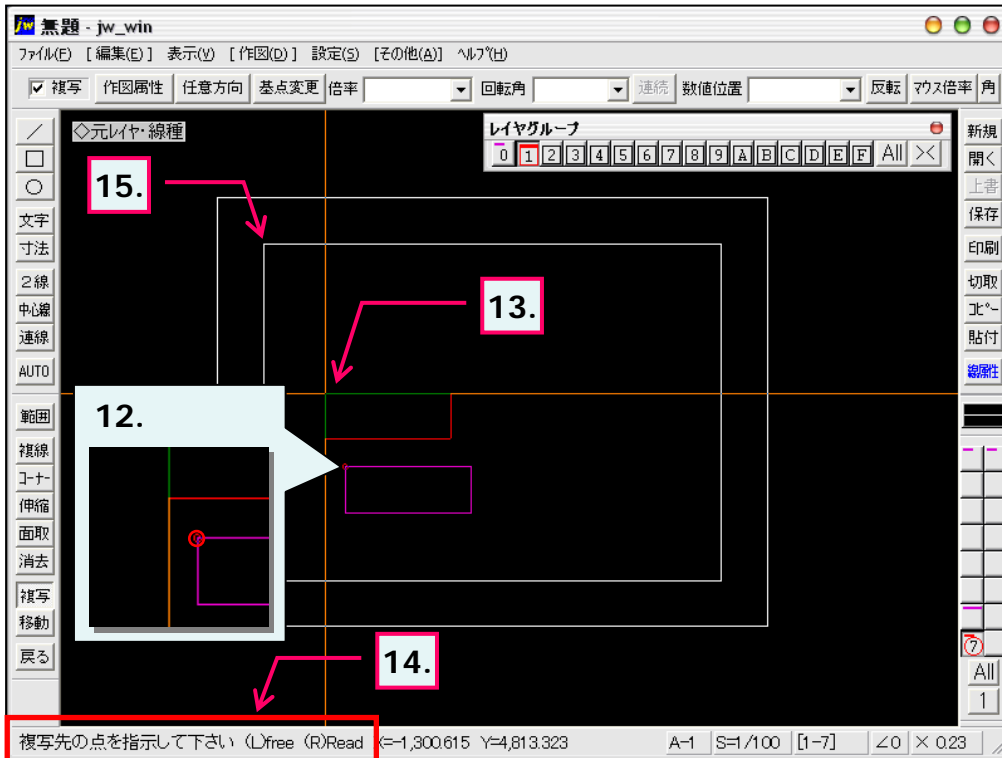
10. 「基点変更」ボタンを押すとステータスバーに表示されるヒントが11.へ変わります。

11. 基点変更ボタンを押すと下記の表示に変わります。

■■■■ 基準点を指示して下さい (L)free (R)Read ■■■■

5-1(3). 線(図形)・文字の複写-3

複写-3



12. 基点として指示したい箇所 (ここでは左上の角)をマウス右ボタンクリックします。

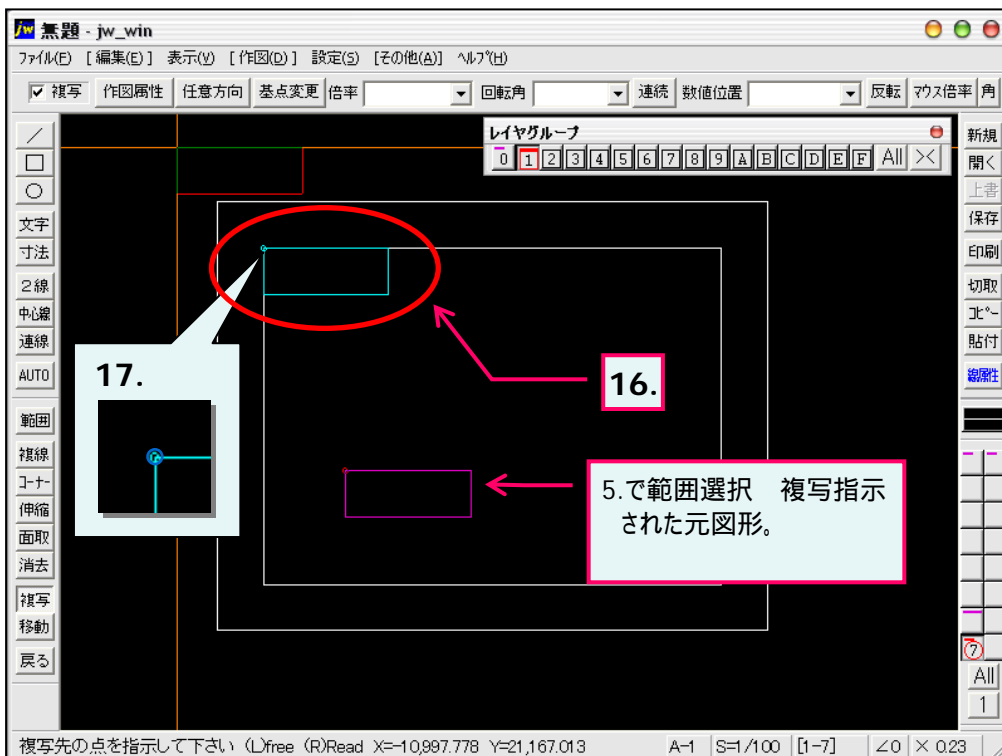
(R)Read

基点として再指示された箇所 に 印が表示されます。

13. 複写された線(図形)の基点が変更され、仮表示線で表示されています。

14. ステータスバーに表示されるヒントを確認。

15. 複写先の点(11.で指示した基点がその位置となります。)を(ここでは左上の角)をマウス右ボタンクリックします。
(R)Read



16. 図のように1.~5.で選択された線(図形)が複写されました。

17. 読取った複写先の点には (複写図形の基点と同位置) 印が表示されます。



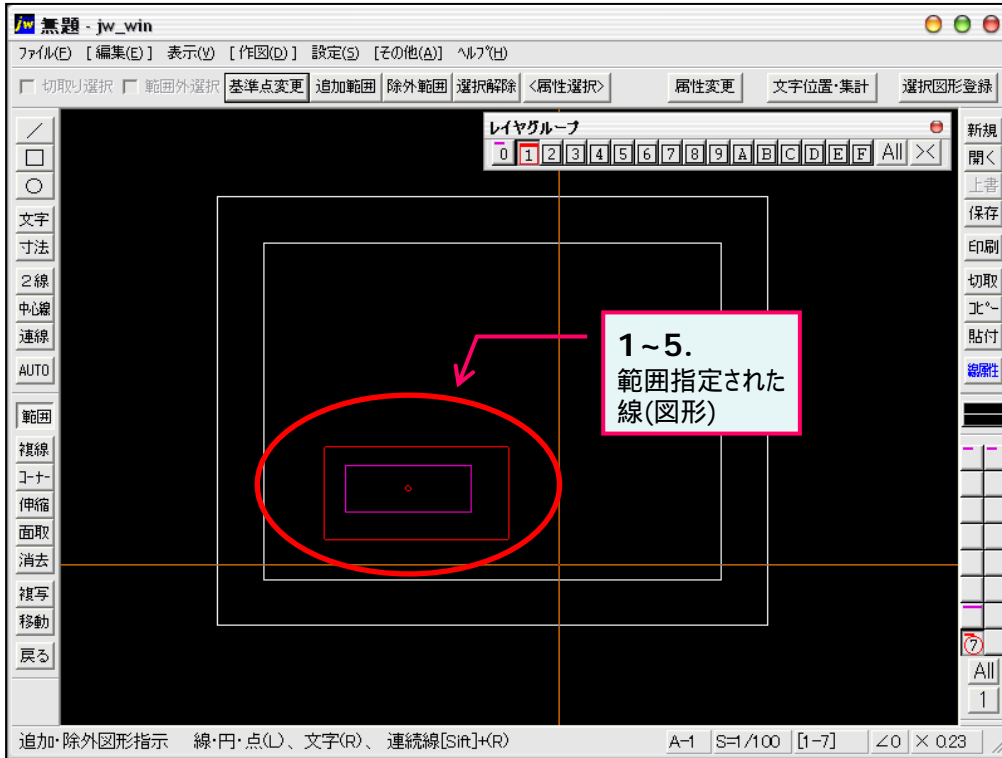
同じ線(図形)を別の箇所へ続けて複写する場合は複写先の点を指示するだけで再複写できます。

(L)free (R)Read

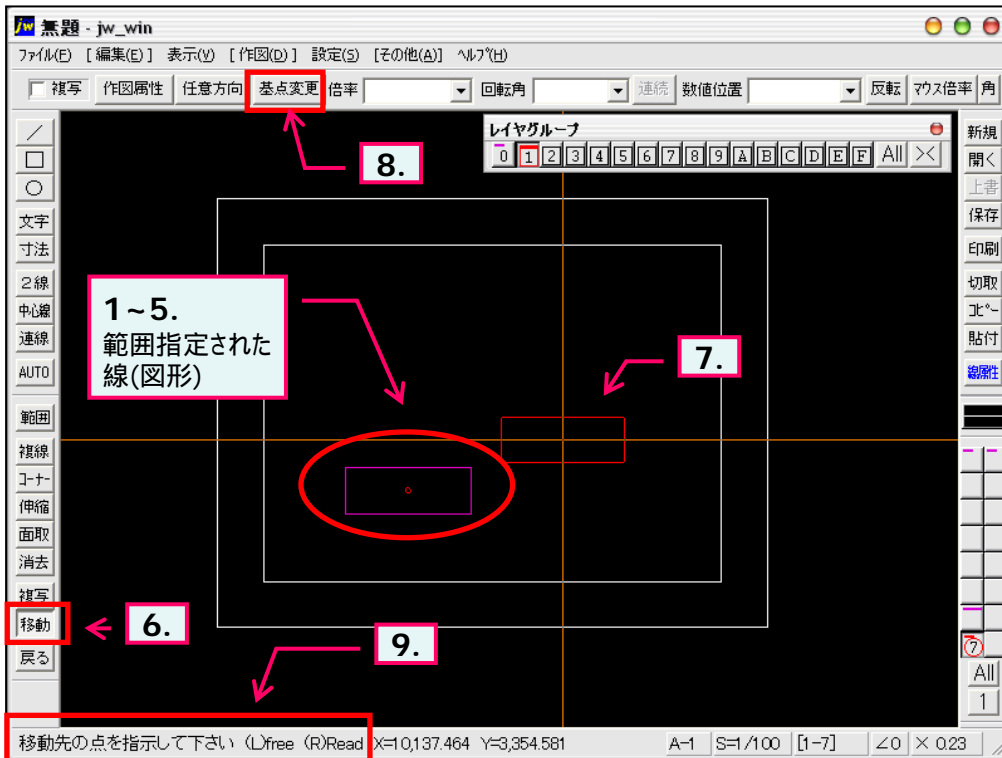
5-2(1). 線(図形)・文字の移動-1

ここでは線(図形)や文字の移動方法を見ていきましょう。

複写と同様に移動方法は他にもありますが、ここでは **範囲選択 移動(回転含む)** の手順で説明していきます。



1. ~ 5.までは複写時の操作(範囲指定まで)と同じです。



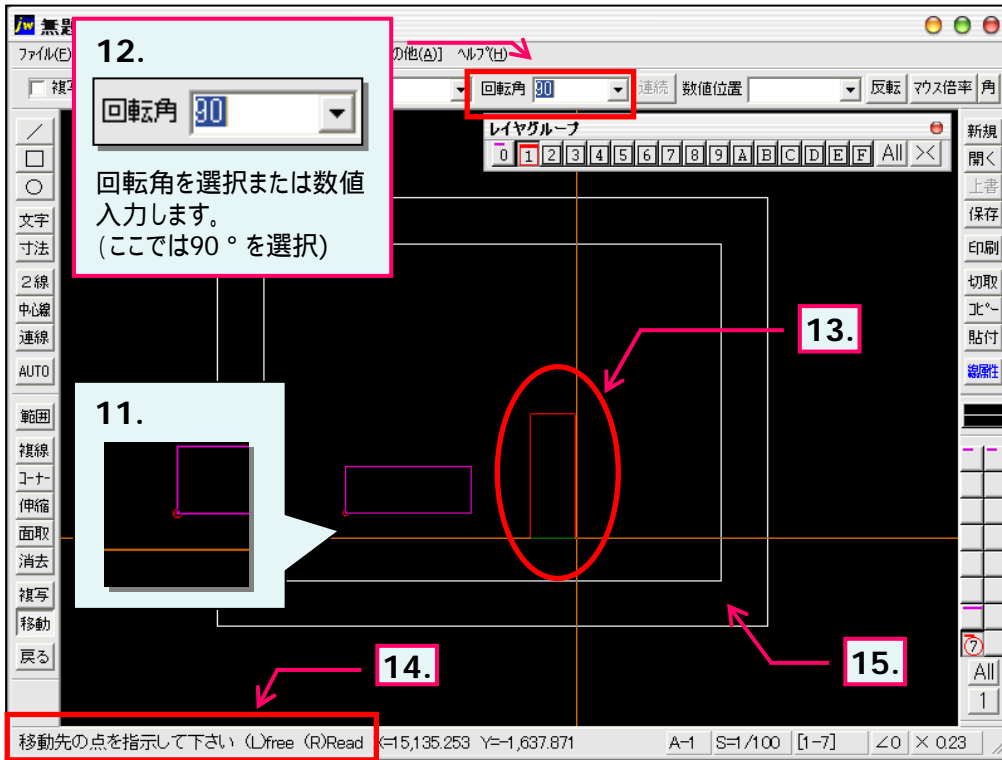
- 6. ツールバー「編集(1)」の**移動**ボタンをクリックします。(メニューバー 編集(E) 図形移動(I)又は、keyボード上の「M」キーを押しても選択できます。)
- 7. 選択された線(図形)が仮表示線で表示されています。
- 8. 「基点変更」ボタンを押して複写時の基点を変更しましょう。
- 9. 「基点変更」ボタンを押すとステータスバーに表示されるヒントが10.へ変わります。

10. 基点変更ボタンを押すと下記の表示に変わります。

■ ■ ■ ■ 基準点を指示して下さい (L)free (R)Read ■ ■ ■ ■

5-2(2). 線(図形)・文字の移動-2

移動-2



11. 基点として指示したい箇所(ここでは左下の角)をマウス右ボタンクリックします。

(R)Read

基点として再指示された箇所に印が表示されます。

12. 移動時に線(図形)を回転させます。

13. 移動選択された線(図形)が基点変更され、90°回転した状態で表示されています。(仮表示線)

14. ステータスバーに表示されるヒントを確認。

15. 移動先の点(11.で指示した基点が、その位置となります。)(ここでは右下の角)をマウス右ボタンクリックします。(R)Read

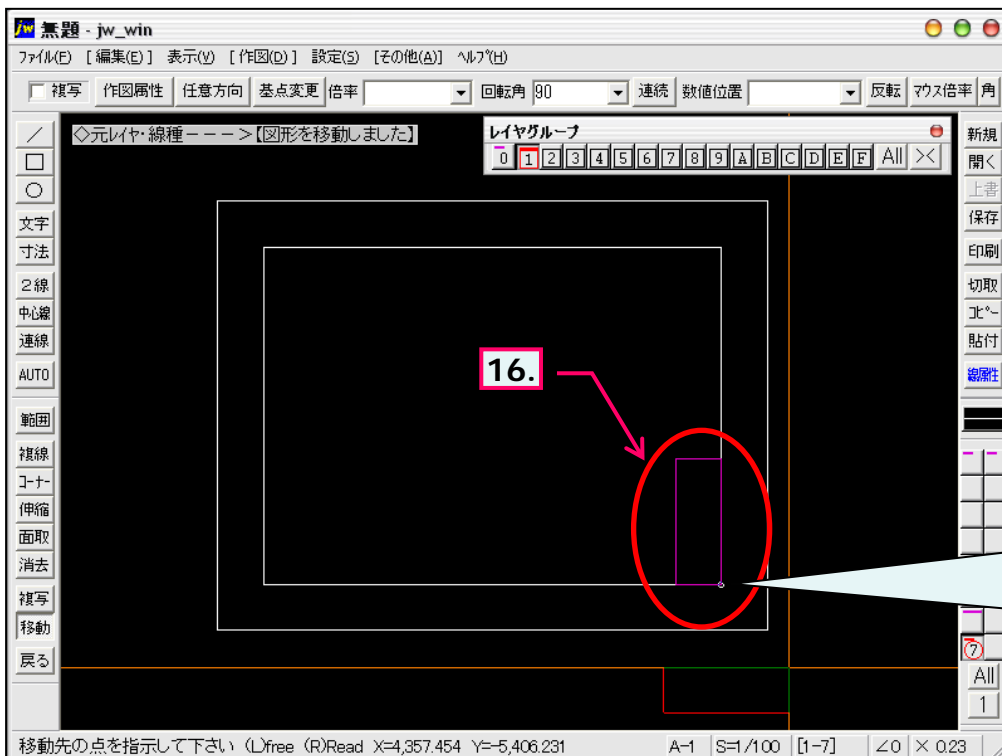
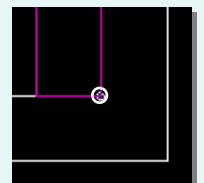


線(図形)・文字の回転は複写時にも同様の操作で行えます。

16. 図のように1.~5.で選択された線(図形)が90°回転した状態で移動されました。

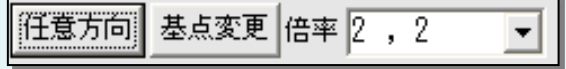
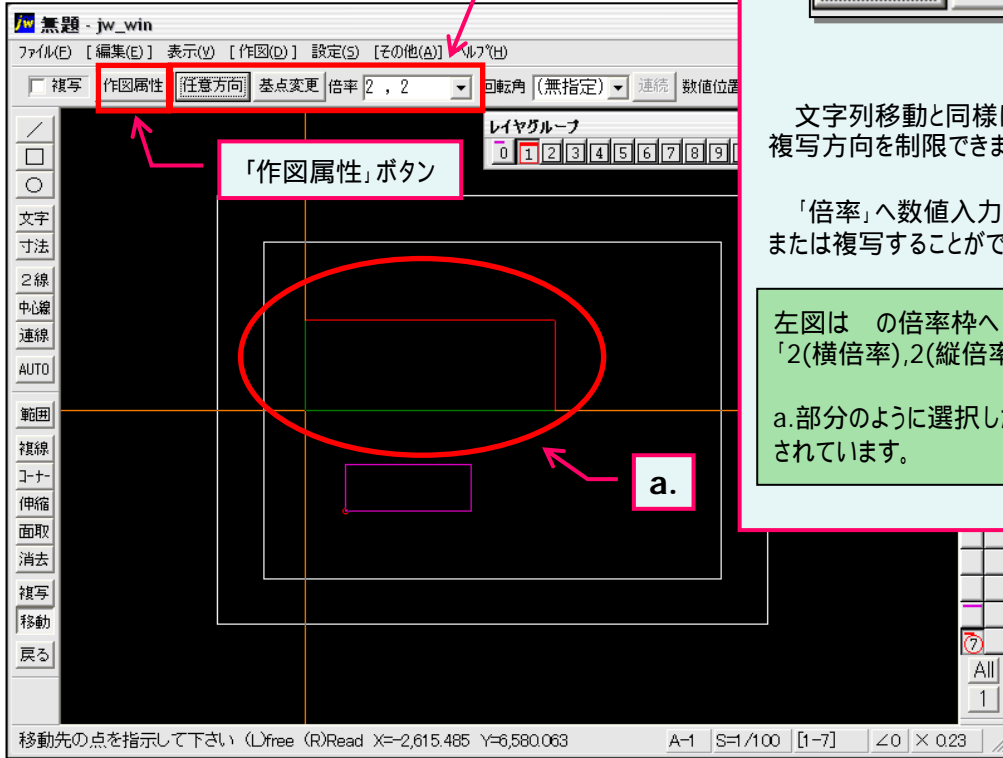
17. 読取った移動先の点には(移動図形の基点と同位置)印が表示されます。

17.



5-2(3). 線(図形)・文字の複写・移動-補足

移動・複写方向制限・倍率変更



文字列移動と同様に「任意方向」ボタンで移動または複写方向を制限できます。3-5(6)参照

「倍率」へ数値入力することで、指定倍した図形を移動または複写することができます。

左図は の倍率枠へ
「2(横倍率),2(縦倍率)」と入力。

a.部分のように選択した線(図形)が指定倍率で仮表示されています。

移動・複写時の作図属性設定

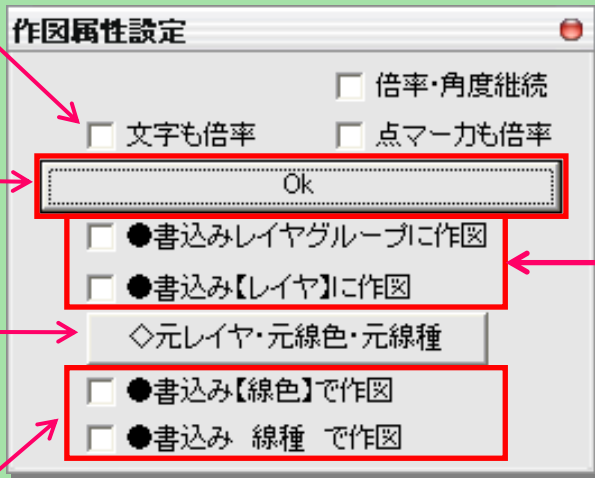
上図の「作図属性」ボタンを押すと下図の「作図属性設定」ウィンドウが表示されます。

1. 倍率指定時に文字サイズも変更したいときにチェックを入れます。

「Ok」ボタンで確定します。

このボタンを押すと2・3のチェックがはずれます。

3. 移動・複写時に現在選択している線色・線種へ変更して作図されます。



2. 移動・複写時に書込みレイヤグループへ作図したい場合、または書込みレイヤに作図したい場合にチェックを入れます。
「書込みレイヤグループに作図」にチェックを入れた場合、移動・複写時のレイヤ番号は元のままです。

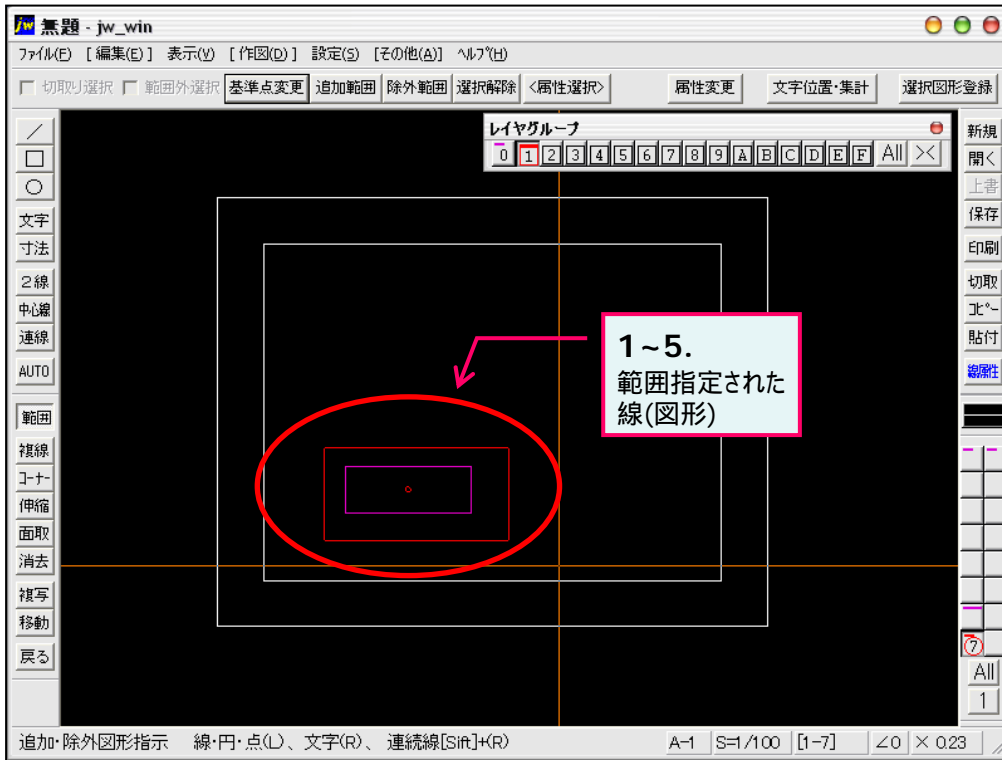
例: 書込みレイヤグループ「2」
書込みレイヤ「5」に作図中、
レイヤグループ「1」・レイヤ「1」に作図している線(図形)・文字を複写・移動した場合、レイヤグループ「2」・レイヤ「1」へ描画されます。

レイヤグループ・レイヤの概要は6-1参照

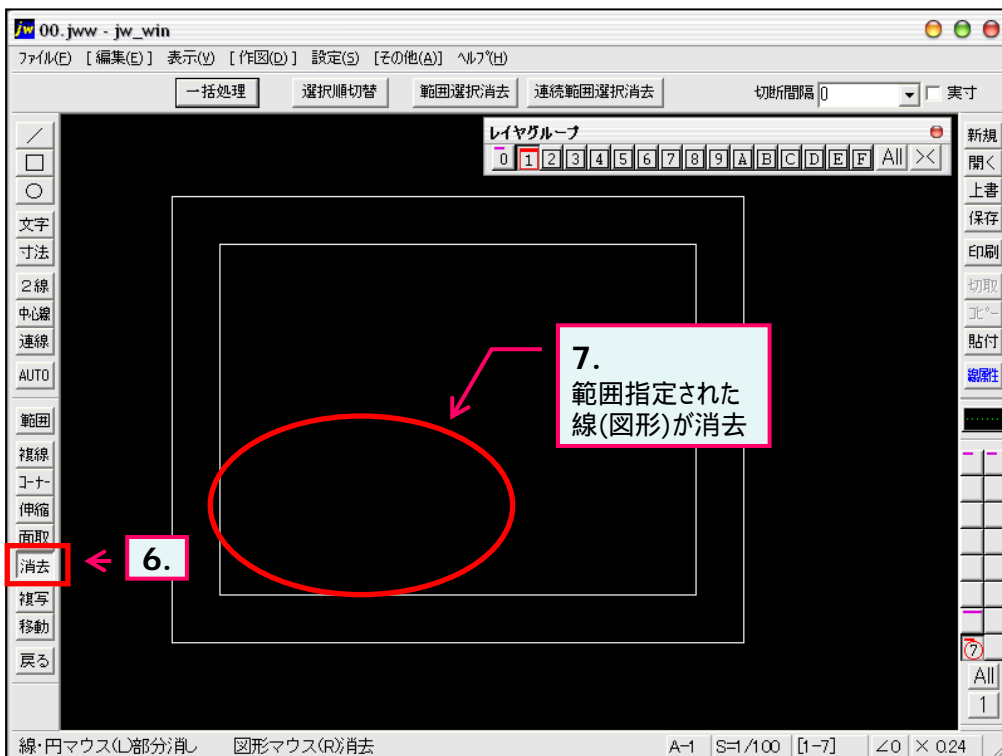
「書込みレイヤグループに作図」を選択時には縮尺設定に注意が必要です。
JW-CADではレイヤグループ単位で縮尺設定されている為。1-5(3)参照

5-3(1). 線(図形)・文字の消去-1

ここでは線(図形)・文字を範囲選択 消去する方法を見ていきましょう。



1. ~ 5.までは複写時の操作(範囲指定まで)と同じです。



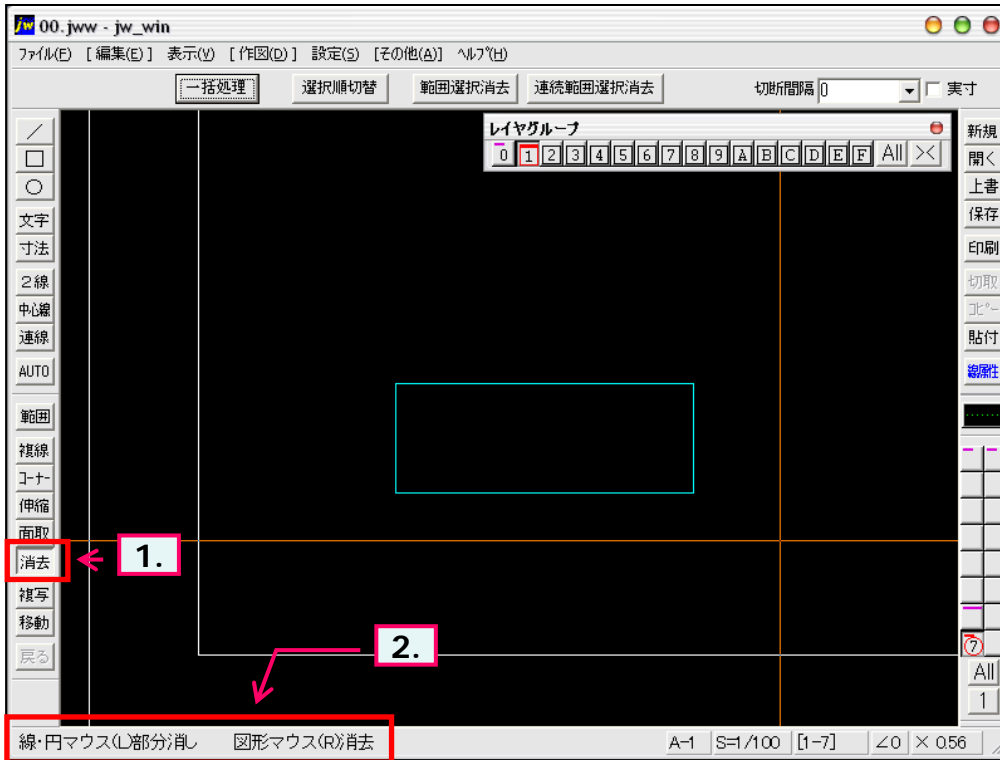
6. ツールバー「編集(1)」の消去ボタンをクリックします。(メニューバー「編集(E) 消去(D)又は、keyボード上の「Del」又は「D」キーを押しても選択できます。)

7. 範囲選択されていた線(図形)が消去されました。

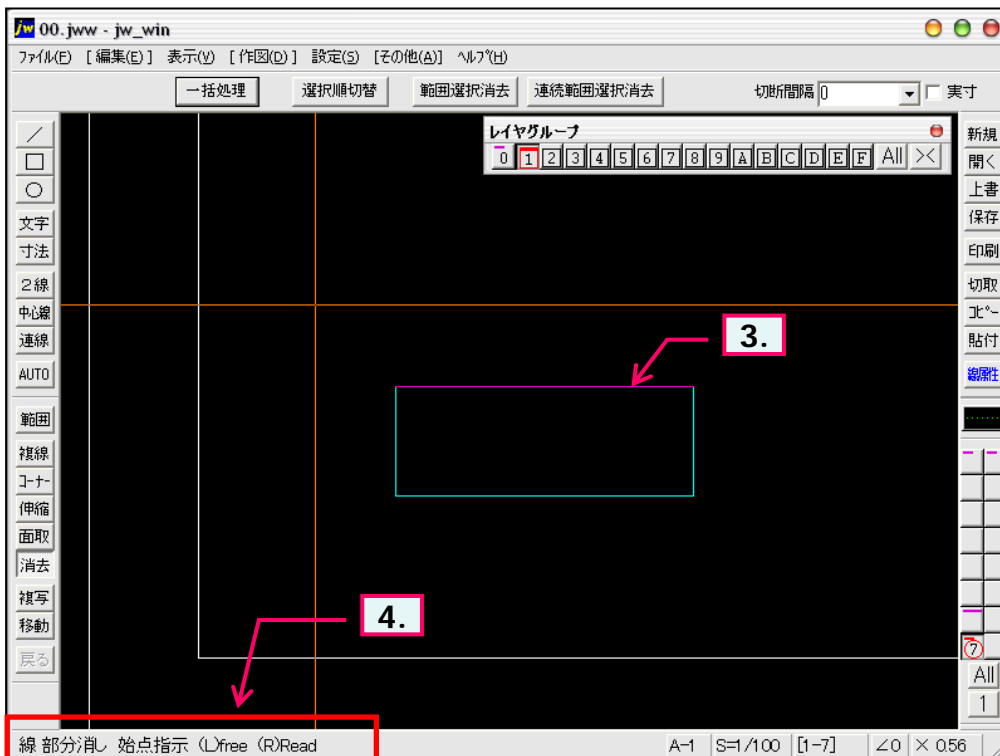
5-3(2). 線(図形)・文字の消去-2

ここでは線(図形)の1部を消去する方法を見ていきましょう。

線(図形)の部分消去-1



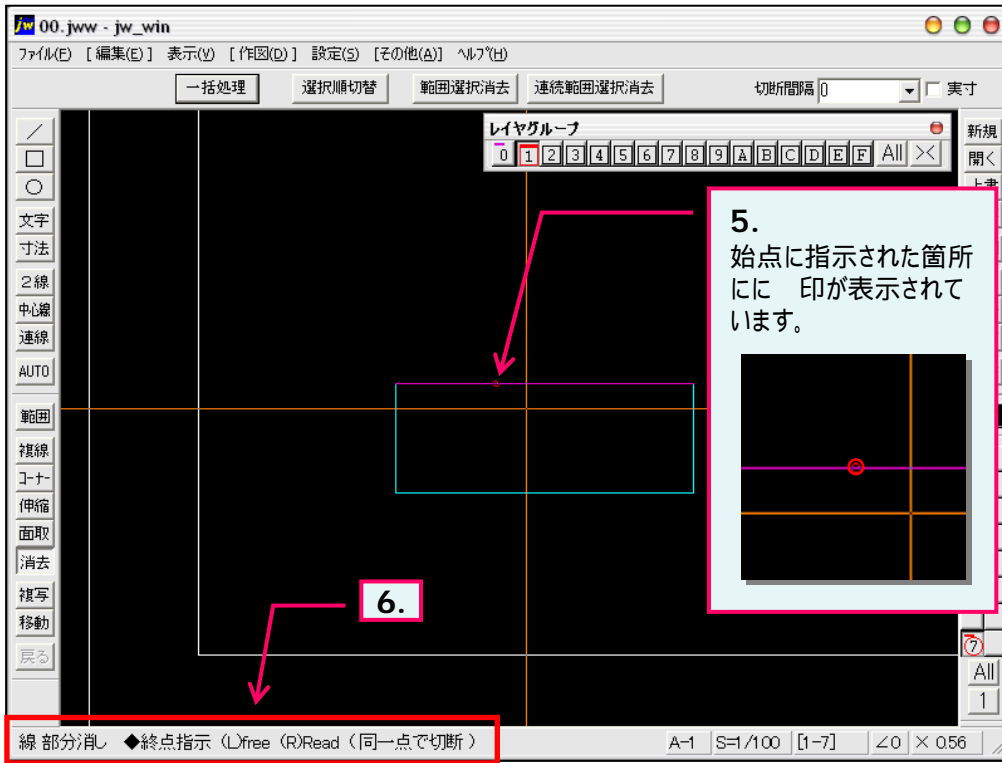
1. ツールバー「編集(1)」の消去ボタンをクリックします。
(メニューバー 編集(E) 消去(D)又は、keyボード上の「D」キーを押しても選択できます。)
2. ステータスバーに表示されるヒントを確認。



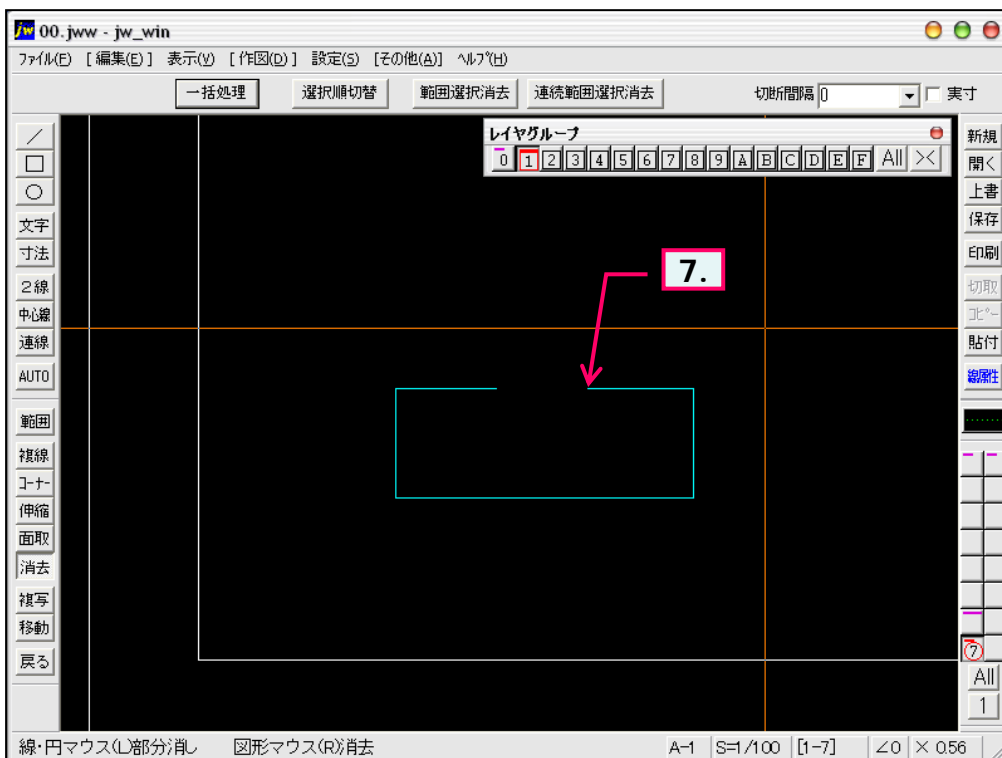
3. 1部分を消去したい線上をマウス左ボタンでクリックします。
線・円マウス(L)部分消し
4. ステータスバーに表示されるヒントを確認。

5-3(3). 線(図形)・文字の消去-3

線(図形)の部分消去-2



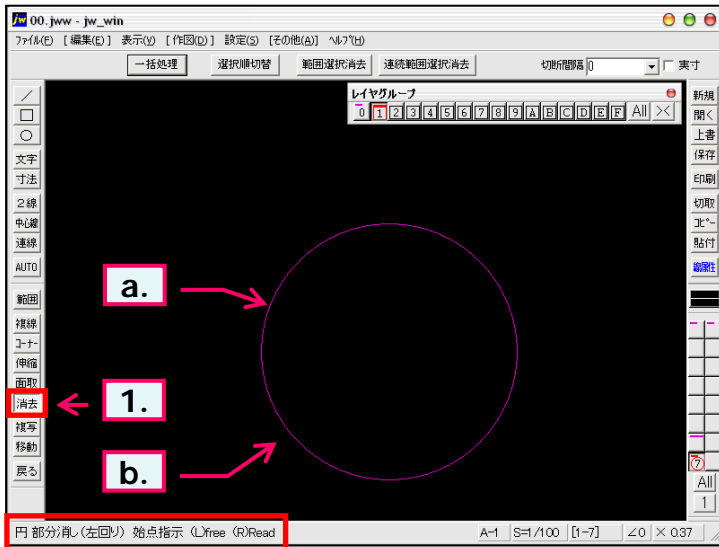
- 5. 部分消去する始点をマウス左ボタンクリック。
(L)free(線上でのみ認識)
- 6. ステータスバーに表示されるヒントを確認。



- 7. 部分消去する終点をマウス左ボタンクリック。
(L)free
 - 💡 交点(角)や端点を指示するときは、マウス右ボタンクリック。
(R)Read
- 左図のように指定された線の一部分が消去されました。

5-3(4). 線(図形)・文字の消去-4

円の部分消去-1



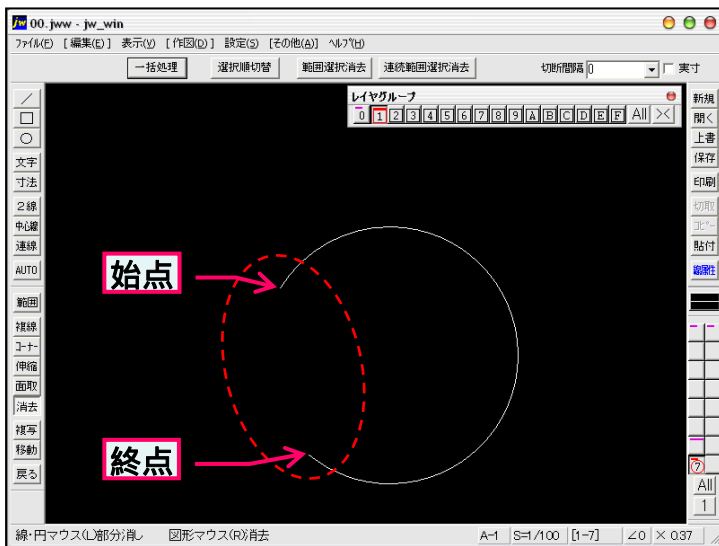
2.

1. ツールバー「編集(1)」の消去ボタンをクリックします。
(メニューバー 編集(E) 消去(D)又は、keyボード上の「D」キーを押しても選択できます。)
2. ステータスバーに表示されるヒントを確認。

円部分消し(左回り) 始点指示 (L)free (R)Read

💡 円上の消去する部分指定は左回り(反時計回り)で指示していきます。

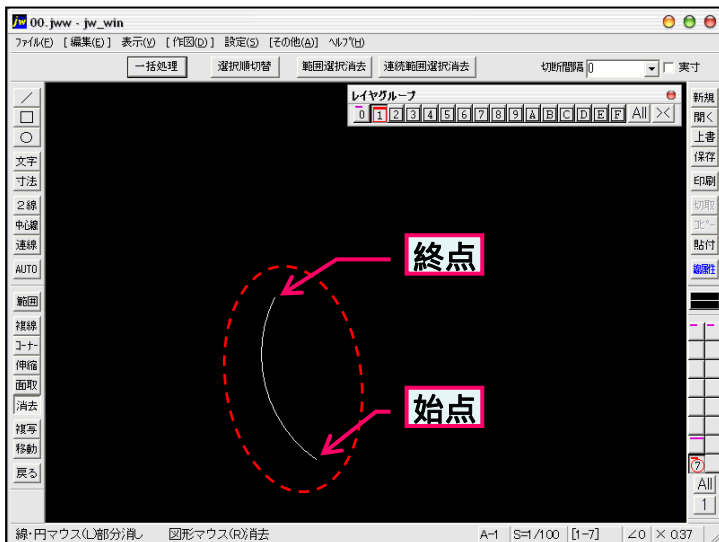
JW-CADにおける各コマンドでの角度指定も同様に左回りが基準です。



左図は上図の円を

- a点** 始点指示
マウス左ボタンクリック:(L)free
- b点** 終点
マウス左ボタンクリック:(L)free

操作後の円です。



左図は上図の円を

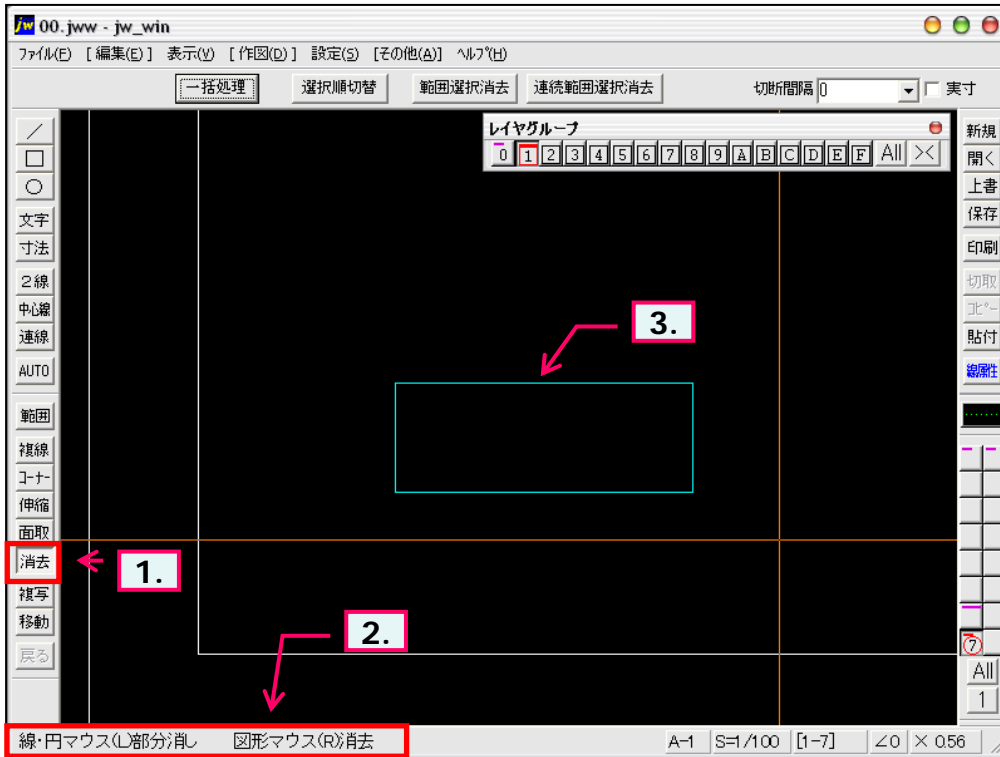
- b点** 始点指示
マウス左ボタンクリック:(L)free
- a点** 終点
マウス左ボタンクリック:(L)free

操作後の円です。

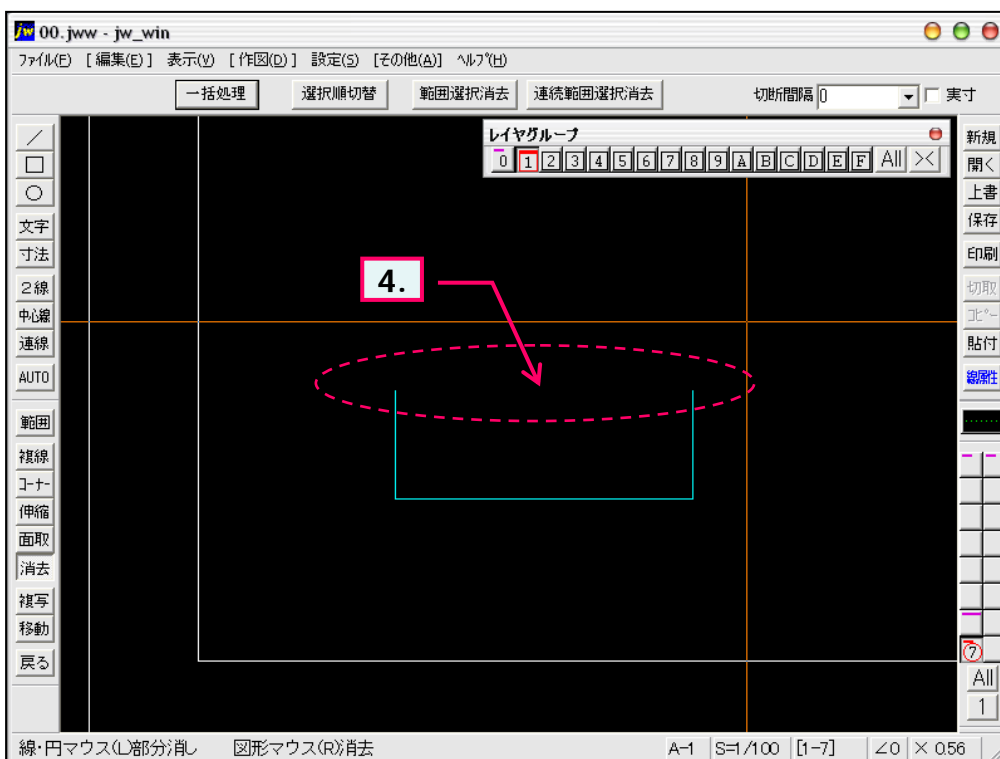
5-3(5). 線(図形)・文字の消去-5

ここでは1辺や1文字列を消去する方法を見ていきましょう。

1辺(1線)の消去



1. 一部消去と同じく、ツールバー「編集(1)」の消去ボタンをクリックします。
(メニューバー 編集(E) 消去(D)又は、keyボード上の「D」キーを押しても選択できます。)
2. ステータスバーに表示されるヒントを確認。
3. 消去したい線上をマウス右ボタンクリックします。
図形マウス(R)消去



4. 左図のように指示された線が消去されました。

💡 文字列を消去する場合も同様に「消去」コマンド選択後、消去したい文字列上をマウス右ボタンクリックします。